

# わかりやすい予算書

— ことしのよさん —

## 飯 豊 町

### 2024

## 目次

---

- |       |                |
|-------|----------------|
| 01    | 人・農地プランから地域計画へ |
| 02-03 | 当初予算の概要        |
| 04-05 | 一般会計の歳入・歳出内訳   |
| 06-11 | 主要事業の概要        |
| 12-13 | 財政健全化指標        |

# 人・農地プランから地域計画へ



～ 地域計画とは…10年後の地域農業の設計図 ～

地域計画とは、地域農業を維持するために、誰が、どここの農地で、どんな作物を、どのように栽培するのか、地域農業の在り方について、地域のみなさんで話し合い、地域のみなさんで作り上げていく将来計画のことです。

地域の農業では、高齢化や人口減少により農業者の減少や荒廃農地が拡大し、農地が適切に利用されなくなることが課題とされています。

飯豊町では、地域のみなさんと一緒に課題解決に向けた「地域計画の策定とその実行」に取り組んでいきます。第1回目の話し合いが、令和6年2月29日に開催され、今後も話し合いを重ねながら、令和6年度中の策定を目指します。

## 地域のことを、地域のみなで考えよう

地域計画は、地域の農業者等の話し合いに基づき、「地域農業の将来の在り方」をまとめた「計画書(本体)」と農地1筆ごとに将来の利用者を明確にした「目標地図」をセットで策定し、町が公表します。

「目標地図」は、農業者や地域のみなさんの話し合いによって策定されます。おおむね10年後を見据え、担い手、農地所有者、地域住民などを交えて話し合うことが重要です。

# 当初予算の概要



飯豊町役場庁舎

## 自治体の1年間の予算

予算とは、4月から翌年の3月までの1年間の収入と支出の見積もりです。新しい年度が始まる前に、その1年間でどのくらいの収入があるのか、1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。予算を見れば、1年間に飯豊町でどのような収入があり、何に使う予定なのかがわかります。

## 飯豊町の令和6年度予算

一般会計、特別会計、企業会計すべての会計を合わせた金額は、107億7,575万円です。

### 一般会計

73億4,600万円

前年度比 ▲8.9%

前年度比 ▲7億1,500万円

一般会計とは、飯豊町の行政サービスの基本的な分野、福祉や教育、道路整備などの収入と支出を管理する会計です。

### 特別会計

22億8,375万円

特別会計とは、特定の目的のための会計で、特定の収入があり、一般会計とは区別して、収入と支出を経理する会計です。飯豊町では、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計など、10の特別会計があります。

### 企業会計

11億4,599万円

企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営する会計です。飯豊町では、水道事業会計と下水道事業会計があります。下水道事業は、令和5年度までは下水道事業特別会計として経営していました。令和6年度から、地方公営企業法の適用に伴い、企業会計となりました。

## 予算編成の方針

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、国内社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、ロシアのウクライナ侵攻や原油価格高騰、異常気象による自然災害の頻発化など、我々を取り巻く情勢は日々目まぐるしく変化しています。

将来的な不安がある中、令和6年度予算は、令和4年8月3日大雨災害からの復旧・復興に重点を置きながら、子育て支援、健康福祉、教育、農業など、住民ニーズに的確に応えられる予算編成となりました。

歳出予算については、災害復旧事業として約4億4,135万円や義務教育学校「いいでの森学園」の開校準備に向けた準備費用約2,478万円などを計上しました。歳入は、地方債や国県支出金、財政調整基金などの各種基金を活用します。



令和6年度予算書

## 予算の決め方と変え方

町長がまとめた予算案を町議会で審議し、議会の議決によって予算が成立します。町長が各課から出された案を自分の考えにそってまとめ、予算案として町議会に提出します。町民を代表する町議会は、提案された予算案を様々な面から審議した上で、議決します。

年度の途中における状況の変化などに対応するための予算を「補正予算」といいます。当初予算と同様に議会の議決を得て決まります。



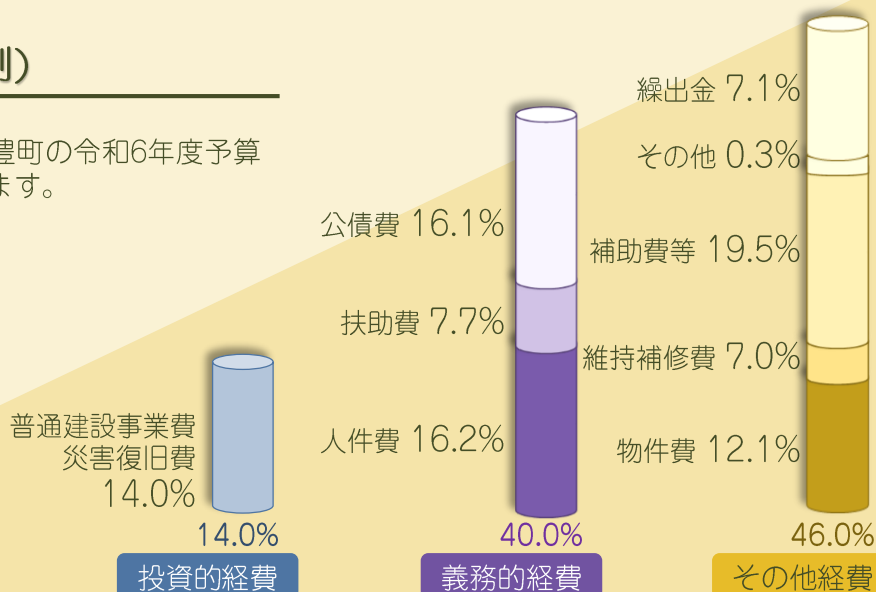
飯豊町議会議場

## 一般会計の歳出内訳(性質別)

歳出予算は性質別に分類でき、飯豊町の令和6年度予算73億4,600万円は、次のようになります。

一般会計予算総額に占める人件費、公債費など必ず支出しなければならない義務的経費の割合は40.0%です。

道路や公共施設の新増設の建設事業に必要とされる投資的な経費である普通建設事業費及び災害復旧費は、一般会計予算総額の14.0%となっています。



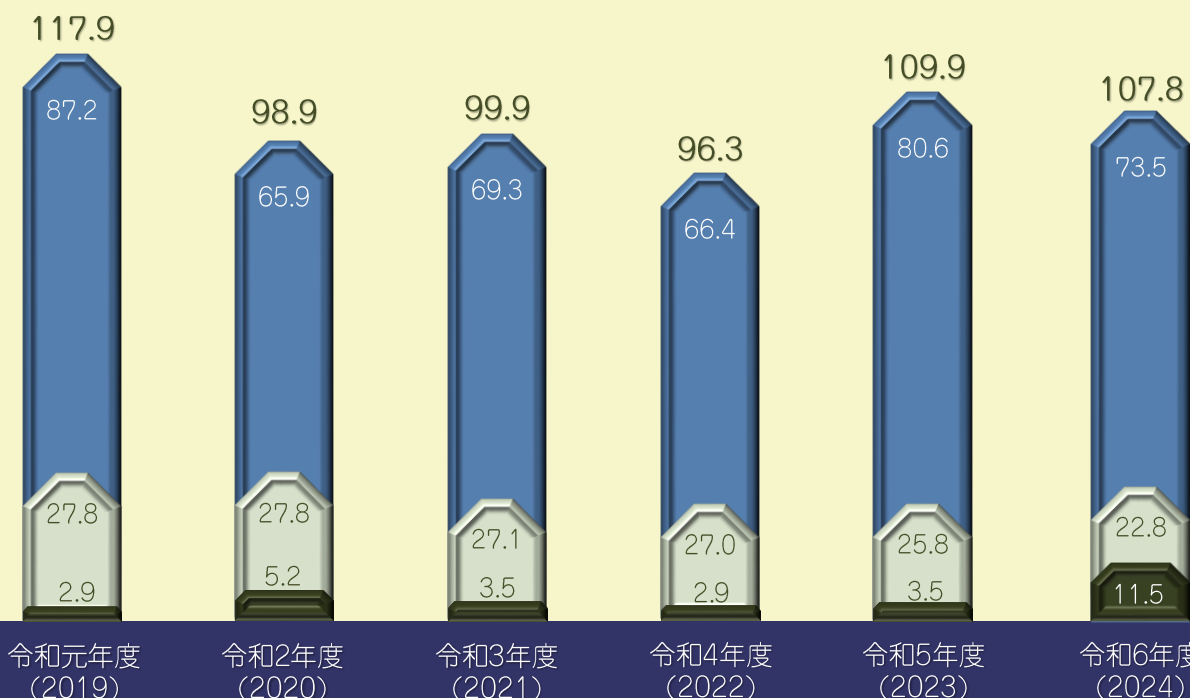
## 当初予算の推移

一般会計

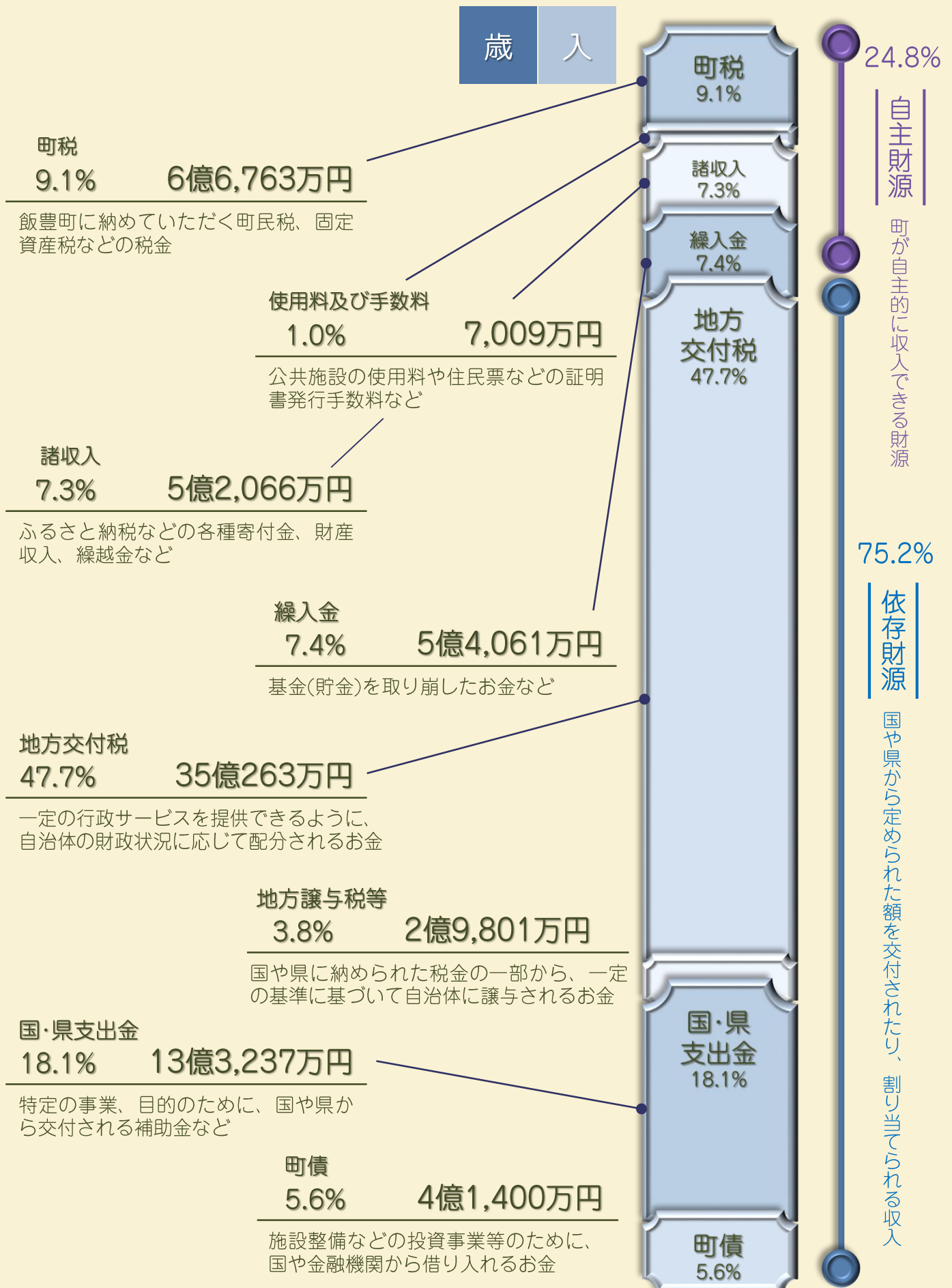
特別会計

企業会計

単位：億円



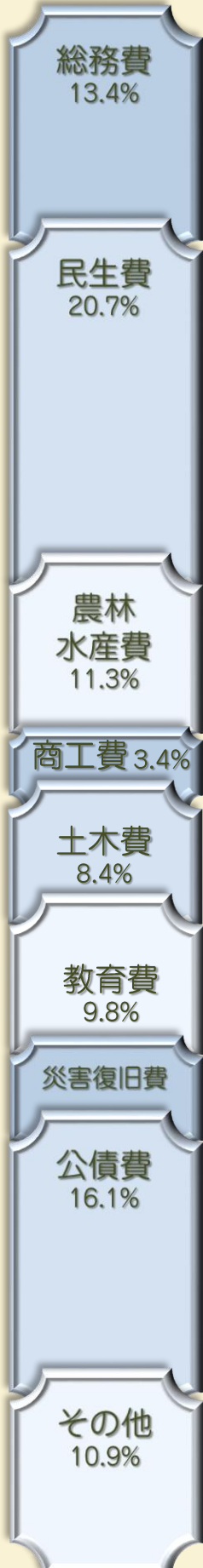
# 一般会計の歳入・歳出内訳



# 歳出

歳出を内容区分ごとに分類したものを、歳出の「目的別」の分類といい、民生、教育、土木など13の目的の歳出があります。

令和6年度は、老人福祉や児童手当、子育て支援医療給付などの民生費が20.7%、地方債の償還にあたる公債費が16.1%、前年度19.3%で最も構成比率が高かった災害復旧費は、令和4年8月大雨災害の復旧復興が進んだことから6.0%となりました。



## 総務費

13.4% 9億8,537万円

役場庁舎の管理や町有財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙など



## 民生費

20.7% 15億2,136万円



障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、生活保護など

## 農林水産費

11.3% 8億3,114万円

農業、林業の振興など



## 商工費

3.4% 2億5,181万円



商工業・観光の振興、中小企業の支援、企業誘致など

## 土木費

8.4% 6億1,526万円

道路、河川の維持管理や整備、除排雪、公営住宅の管理など



## 教育費

9.8% 7億2,102万円



小中学校の環境整備、生涯学習、文化財やスポーツ振興など

## 災害復旧費

6.0% 4億4,135万円

道路橋梁、農地及び林道等の災害復旧費



## 公債費

16.1% 11億8,063万円



国や金融機関からの借入金の返済

## その他

10.9% 7億9,806万円

議会運営、ごみ処理などの環境保全、消防費など



# 主要事業の概要



発災直後の芋はげ橋(小白川地内)



発災直後の諏訪橋(町道橋中線)



郷土をたがやすまち

4億4,135万円

## 災害復旧事業

令和4年8月3日、本町では2度にわたって発生した線状降水帯が原因の豪雨により、これまで経験したことがない大災害が発生しました。

令和5年度を災害復興元年と位置付け、甚大な被害を受けた道路や橋梁、農地、農業用施設の復旧に取り組んできました。令和6年度は、まだ着手できていない林道などの復旧に取り組みます。

私たちは、あの日を忘れてはいけません。頻発化、激甚化する災害に対応できるよう、防災減災事業や農業用施設の機能強化等について、関係機関と連携し検討するとともに、令和5年度に策定に着手した個別避難計画等により、災害に強いまちづくりを行っていきます。



人をはぐくむまち

2,478万円

## 義務教育学校準備費

令和8年4月の義務教育学校「いいでの森学園」の開校に向け、令和5年度に、保護者や地域住民の方の代表、学校の先生方を主体とする「飯豊町義務教育学校開校準備委員会」を設置し、制服や運動着などのアンケートを取るとともに、校章や校歌などの準備を進めました。

令和6年度からは、教育総務課内に「義務教育学校準備室」を新設し、新しい学校開校に向けた教育環境の整備など、開校への準備を進めていきます。



「いいでの森学園」の中学舎となる現飯豊中学校







 人をはぐくむまち

384万円

## 子育て家庭の包括的支援事業の強化

少子高齢化により人口減少に歯止めがかからない今、抜本的な対策が求められており、令和5年4月、国は子ども家庭庁を創設しました。

本町でも、組織機構の見直しを行い、健康福祉課健康医療室と教育総務課子育て支援室の業務整理を行い、令和6年度からは、健康医療室を「子ども家庭健康室」に改名し、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもを対象とする包括的な総合窓口として、新たに「こども家庭センター」を設置します。新規支援事業や既存事業を拡充しながら、専門的知見を有する保健師等が中心となり、妊娠期から出産子育てまで、切れ目ない支援を行います。更に、5年間の計画期間における幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援についての需給計画を定めた「第3次飯豊町子ども子育て支援事業計画」の策定を行います。



 世代をつなぐまち

240万円

## 家庭保育支援事業

町内認定こども園を利用せず、家庭で保育を行う3歳までのお子さんがある世帯を支援するため、お子さん1人につき1か月5,000円の家庭保育支援給付金を支給します。

集団生活で学ぶこともあれば、家庭保育で学ぶこともあります。子どもにとって、家庭で家族と過ごす時間は、かけがえのないものです。



 世代をつなぐまち

3,200万円

## 飯豊版DX推進事業

国のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進に呼応し、令和6年度から企画課情報推進室を「DX推進室」に改名し、統合型GIS(地理情報システム)の導入、LINEを活用した情報発信、鳥獣害対策カメラ整備など、行政サービス向上並びに町民の利便性向上のため、DXを推進していきます。

# 主要事業の概要



郷土をたがやすまち

500万円

## 老朽危険空き家対策

本町のみならず、全国的な課題となっている老朽危険空き家。令和5年度に改定した「飯豊町空き家等対策計画」に基づき、空き家の適正管理と利活用を促すとともに、老朽危険空き家の解体に向けた対策を進めます。

老朽危険空き家の解体に対する支援は、これまでの上限50万円から、上限100万円に引き上げ、老朽危険空き家の減少に努めます。



郷土をたがやすまち

1,586万円

## 軽四輪小型動力ポンプ付積載車整備事業

消防団は、消火活動のみならず、地震や風水害時に、救助救出活動、避難誘導、災害防御活動など、非常に重要な役割を果たしています。平常時においても、住民への防火指導、巡回広報、特別警戒、応急手当指導等、地域に密着した活動を展開し、地域における消防力・防災力の向上に大きな役割を果たしています。

令和6年度は、軽四輪小型動力ポンプ付積載車を2台整備します。



世代をつなぐまち

390万円

## 豪雪地帯安全確保緊急対策事業

高齢者に対する除雪支援については、今後単身世帯や高齢者世帯の増加により、更なる要支援者の増加が懸念されます。

除排雪の担い手確保など雪による条件不利性がもたらす課題を克服し、豪雪地帯の魅力を生かした地域振興を推進するため、飯豊町地域安全克雪方針に基づき、有償ボランティアによる除雪支援などの体制を構築していきます。

## 農地利用の最適化に関する地域計画策定

農業従事者の高齢化や担い手不足、そして引き受け手のない農地の増加が懸念される中、各地区で5年後、10年後に誰がどのように地域の農地を活用し経営していくかを町民とともに検討し、地域計画及び目標地図の作成を行います。

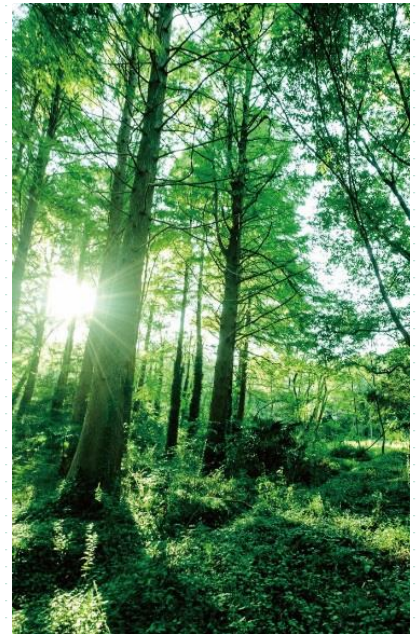
(詳細は1ページ)



## 森づくり支援・森林整備

森林環境譲与税を活用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図ります。

地域林政アドバイザーや地域おこし協力隊の配置により、森林資源の有効活用や後継者の育成を図ります。また、荒廃した森林の整備、里山の下刈りなどにより、人と野生鳥獣の生活圏を分ける緩衝地帯を整備し、有害鳥獣や森林病害虫による農林産物被害の抑制を図ります。



## 除排雪事業 (道路、高齢者支援)

冬期間の道路交通を維持するため、道路の除雪や消雪を行い、安全・安心な生活を確保します。

高齢者世帯等には、除雪ヘルパーの派遣等を通じて支援していきます。

# 主要事業の概要

縁をつむぐまち

1,206万円

## 地域おこし協力隊による地域力強化



地域おこし協力隊3名が、SDGs普及、ゼロカーボン推進、農業応援などの活動を行っています。地域力を向上させる若い力が町を盛り上げていきます。

また、任期を終えた地域おこし協力隊も継続して地域づくりに携わります。

縁をつむぐまち

1億500万円

## ふるさと納税事業



いいでめざみの里応援寄附金(ふるさと納税)により全国各地の多くの方から応援いただいています。いただいた寄附は町の貴重な財源になるだけでなく、本町を知ってもらい、この縁を大切にしていきます。

世代をつなぐまち

5,303万円

## 母子保健、子育て支援医療給付



県内でも早い段階から実施してきた年齢18歳までの医療費の無料化や、重度心身障がい児やひとり親家庭等の医療費助成、保育料の軽減、出産支援給付など、子育て世代等の経済的負担軽減を図っていきます。

縁をつむぐまち

748万円

## アンテナショップIIDE運営事業



アンテナショップIIDE



平成26年11月に杉並区高円寺にオープンした「アンテナショップIIDE」。本町産の美味いつや姫で作る「おにぎり」販売を中心に、全国にPRしています。令和6年度は、めざみの里まつりに高円寺阿波踊り団体が参加予定です。

ご紹介した事業以外にも、飯豊町ではたくさんの事業を展開しています。

人をはぐくむまち

922万円

### 地域づくり推進事業



第5次飯豊町総合計画「地区別計画」の目標実現に向けた支援や、地区間で連携して行う事業(地区間連携枠)、新たに何かをやってみみたい団体等への支援(全町枠)など、地域づくり活動に対し支援していきます。

可能性をひらくまち

110万円

### 飯豊・農の未来事業

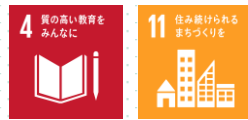


平成27年度に開始した「飯豊・農の未来事業」は10年目を迎えます。土地利用型作物への転換や家畜用飼料となる子実用トウモロコシの栽培、飯豊産小麦の活用など、持続可能な農業の実現に向けて取り組みを続けます。

世代をつなぐまち

731万円

### 学校・家庭・地域の連携協働推進事業

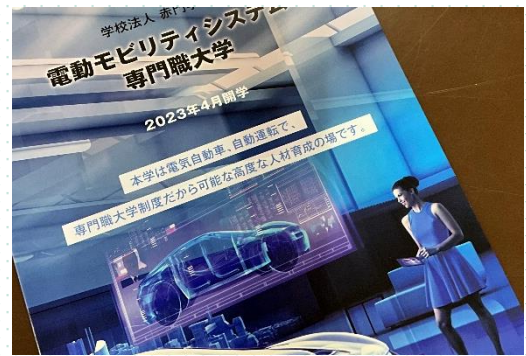


地域とともにある学校づくりを推進するため、地域住民等の参画を得ながら学校と地域が連携・協働できる活動を行います。地域学校協働活動統括コーディネーターをはじめ、町内各校に地域学校協働活動推進員を配置します。

可能性をひらくまち

300万円

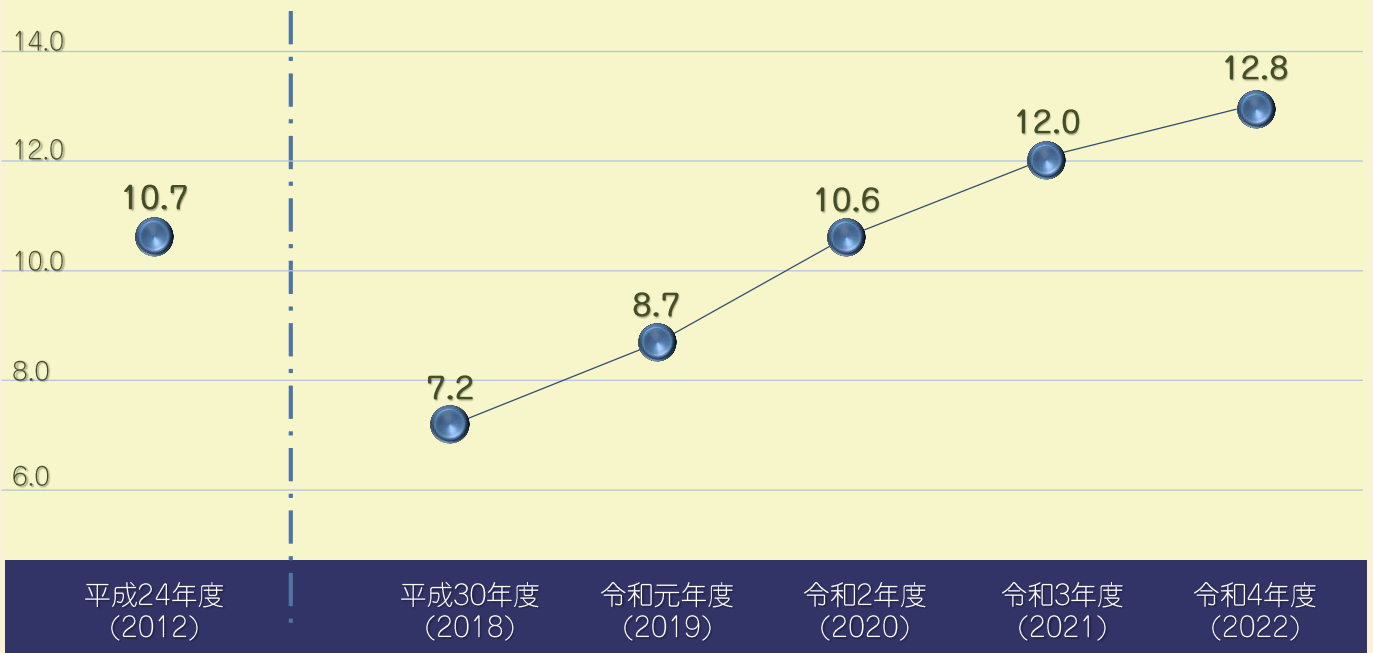
### 電動モビリティ地域共創コンソーシアム



令和5年6月、行政や大学、民間事業者で構成する電動モビリティ地域共創コンソーシアムを設立。県内企業と大学の連携促進や学生や教授陣と地域との関わりに資する事業などを展開していきます。

## 実質公債費比率

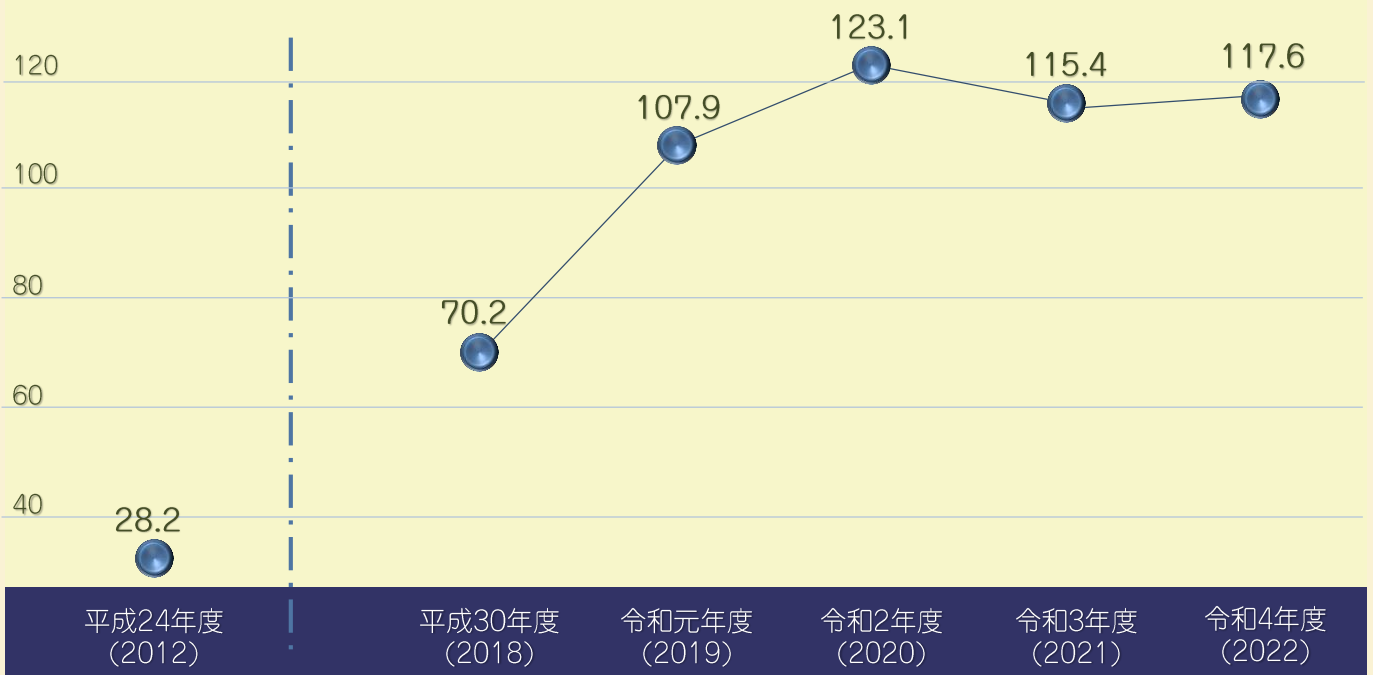
単位：%



実質公債費比率は、一般会計等が負担する地方債の元利償還金(町の借入金の返済金)などの標準財政規模に対する比率です。この指標が18%を超えると起債(借金)をする際に知事の許可が必要となり、25%を超えると一部の起債が制限されます。平成24年度は10.7%、令和4年度は12.8%です。

## 将来負担比率

単位：%



将来負担比率とは、地方債や職員の退職金など、一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。この比率が高い場合、将来これらの負担額を実際に支払う必要があることから、今後の財政運営が圧迫されるなどの問題が生じる可能性が高くなります。平成24年度は28.2%、令和4年度は117.6%です。

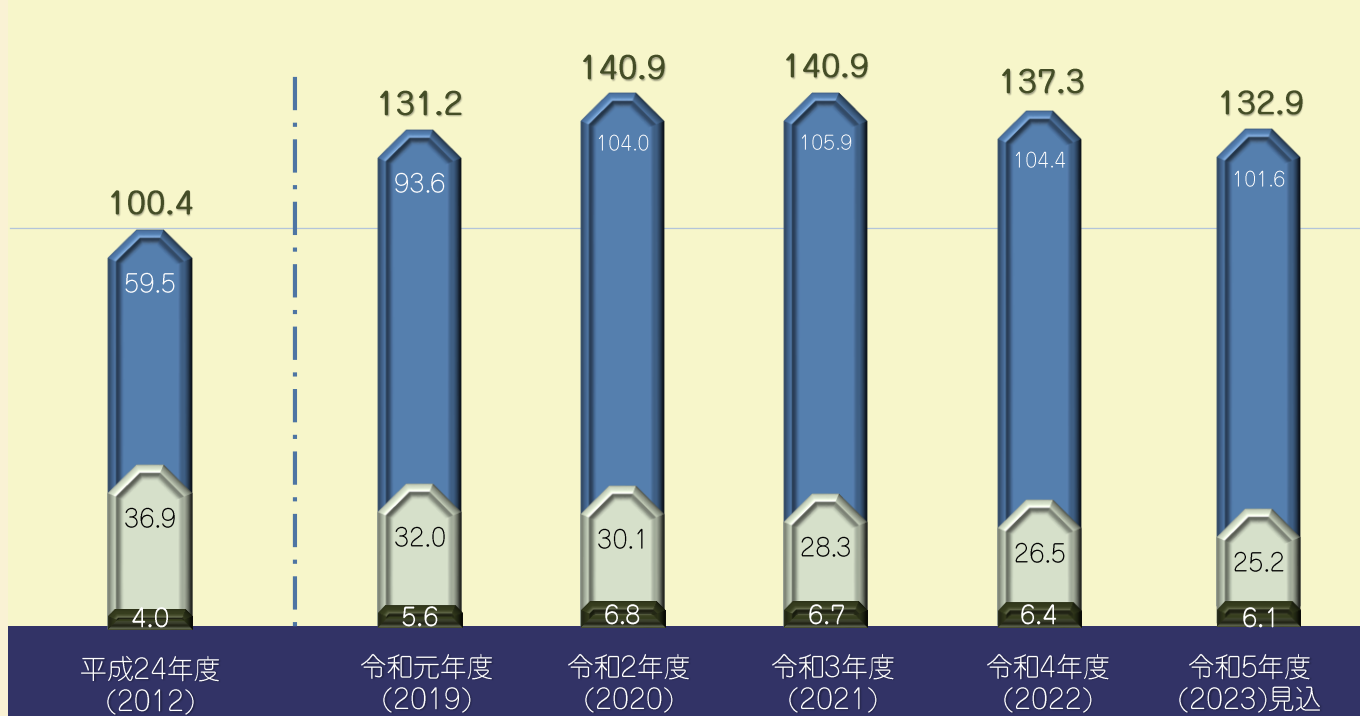
## 町債残高

一般会計

特別会計

企業会計

単位：億円



町債は、大きな事業をするときに、国や金融機関等から借りる資金です。道路や建物などは、たくさんの方が利用することから、その年の予算だけで賄うのではなく、将来の町民の方にも費用負担いただく「負担の公平化」も、町債を発行する理由の一つです。平成24年度は約100億4千万円。令和5年度は約132億9千万円になる見込みです。

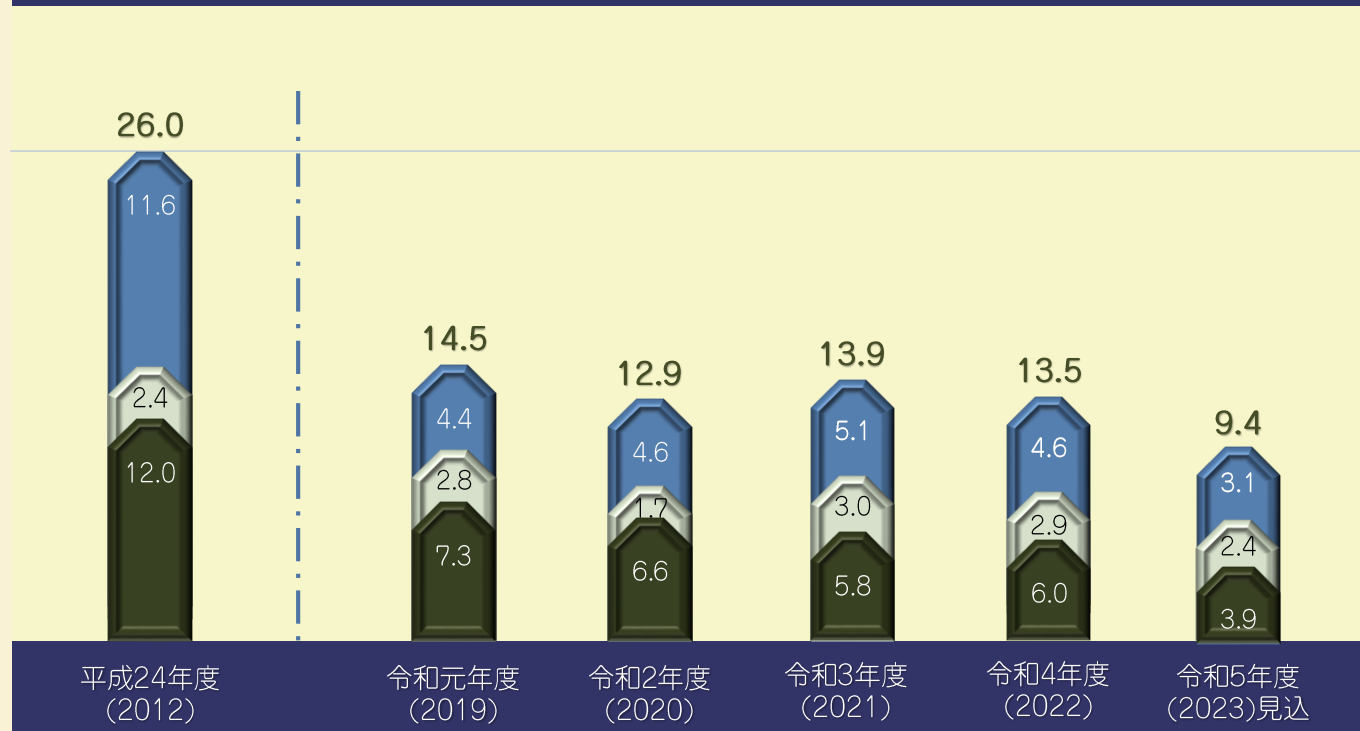
## 基金残高

財政調整基金

減債基金

その他基金

単位：億円



基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設ける財産です。家庭で言えば貯金です。年度間の財源不足に備えるための「財政調整基金」、町債の償還(借金の返済)に必要な財源を確保し、財政の健全な運営を行うための「減債基金」などがあります。平成24年度は、約26億円。令和5年度は約9億5千万円になる見込みです。

わかりやすい予算書  
飯豊町 2024



〒999-0696  
山形県西置賜郡飯豊町大字椿2888番地  
TEL (0238)72-2111

飯豊町はNPO法人  
「日本で最も美しい村」  
連合に加盟しています



the most beautiful  
villages in japan

飯豊町  
山形県